

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
99.2.24 No. 4923



第40回定期委員会
国鉄千葉動力車労働組合

99春闘勝利！中江・水野選挙必勝！

総決起・総行動へ

第四〇回定期委員会開催

「エンジン」全開へ！

二月二二日、開催された「第四〇回定期委員会」で、当面する三大課題を満場一致で決定し、直ちに総行動に突入することを確認した。

三大課題とは、①九九春闘勝利、②一〇四七名解雇撤回、JR体制打倒、③統一地方選挙—中江・水野候補必勝である。

「組合結成二〇周年」を飛躍のパネとして激動の時代の中で生きぬき、闘い、勝利していくために、団結の強化、連帯の拡大は、必要条件である。

委員会でも選挙戦について、動力労千葉の威信をかけた闘いであり、新ガイドライン—有事立法を撃つ決定的闘いとして位置付け闘おう、という決意に満ちたものとしてかちとられた。

また、新たな合理化についても結合して闘うことが確認された。

「契約社員」の導入や検修のさらなる合理化は、運転保安、安全輸送を根本から脅かしていることが切実に出され、貨物からは「格差」にはもはや忍耐も限度も超えたものがある、だからこそ貨物と旅客の組合員が心をひとつにして団結を強化しようという極めて前向きな方向、闘う方向性が示された。

【山さされた意見】

●選挙の行動について、廻る方法や異動について「工夫」が必要だ。

●貨物職場では、怒りが極限状態であり、今春闘ではストライキで闘うべきだ。

●水野勝浦市議の必勝に向け、初心にかえって闘う。

●東労組は、東京からの送り込みを三役に入れたり、リーダー研修中止になつてから、焦りが見える。積極的に攻めよう。

●春闘の中でストライキを配置して強制配転者の奪還をかちとろう。

99春闘の課題

- ①38000円の大増賃上げ獲得
- ②五五歳以降の賃金引下げ
- ③五五歳以降の年金支払引下げ
- ④引上げに際した退職金の引き上げ
- ⑤JR貨物の超低額・格差粉砕

この課題と結合して、強制配転者の原職復帰・土職登用、反合運転保安確立—一六〇歳まで働ける労働条件の確立、清算事業団—一〇四七名の解雇撤回・原職復帰、の懸案要求の解決を求めよう。

中江・水野両候補が決意表明

【中江候補】

年末・年始を手術のため動けませんでした。組合員のご支援で挽回しています。反応は今までは違つて、戦争への危機感が高まり、私たちの主張に物凄く反応してくれています。この間、一貫して主張してきた反戦・平和を前面に掲げて全力で闘いぬきます。

【水野候補】

難しい二期目の挑戦です。市民の時代への焦燥感、物凄く「どうしたらいいのか」という私たちの期待感も随所で感じます。動力労千葉の旗の下に闘うことを鮮明にし、それを地域に広めることも決定的に重要だという認識にたつて、全力で闘う決意です。

中野委員長あいつ(要旨)

時代は、戦後最悪の経済危機を迎え、九九年年度予算も三兆円の国債発行という重大問題を短時間で決めている。こうした中で日本は、六〇〇兆円という最悪の借金国に転換した。そこからの脱出を新安保ガイドライン—関連法—戦争国家化で乗り切ろうとしている。

こういう情勢の中で九九春闘が闘われる。いかに闘い勝利するのかを真剣な討論で確認しなければならぬ。

春闘を前に連合は、日経連と違いが分からないほど同じようなことを言っている。「国際競争に勝つために合理化、リストラをドンドン押し進めろ」と言い、賃上げ要求も「一％」という、事実上ゼロ要求である。われわれは、こうした危機を突破し、賃上げを中心に首切り反

対、権利剥脱粉砕、運転保安確立と結合して闘わなければならない。とくに、貨物の超低額回答・格差粉砕は全組合員の共通した課題であり、一体感を強め闘いぬこう。

この春闘の中で闘われる統一地方選挙—中江(船橋)・水野(勝浦)両候補の必勝は、動力労千葉の力を社会的に示すものであり、何よりもJR当局への挑戦状でもある。一人ひとりが候補者となった気持ちで総決起しよう。

「組合結成二〇周年」は、新たな闘いへの挑戦であり、激動の事態に立ち向かう強固な団結をうち固める闘いである。組合員・家族、OBの結束を固め、現場からの決起を開始した国労の仲間とのスクラムを強めて共に頑張ろう。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動力労千葉を創りあげよう！